

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月27日

上場会社名 ソフトバンク・テクノロジー株式会社
 コード番号 4726 URL <http://www.softbanktech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 石川 憲和
 (氏名) 志水 直樹

TEL 03-5206-3316

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	6,607	△0.9	△11	—	0	△99.7	8	△86.8
21年3月期第1四半期	6,664	—	175	—	189	—	67	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	0.93	—
21年3月期第1四半期	6.67	6.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	11,592	6,815	58.8	704.22
21年3月期	12,254	6,970	56.4	713.57

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,815百万円 21年3月期 6,908百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	16.00	16.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	16.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	14,100	△0.8	140	△67.1	160	△65.2	70	△65.2	7.23
通期	28,400	△3.3	700	△30.5	700	△34.5	350	65.9	36.16

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6～7ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、6～7ページ 定性的情報・財務諸表等 4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 10,640,200株 21年3月期 10,640,200株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 961,666株 21年3月期 958,866株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 9,679,934株 21年3月期第1四半期 10,193,820株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、5～6ページ 定性的情報・財務諸表等 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(当第1四半期の経営成績)

(百万円)

(円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益	1株当たり 四半期(当期) 純利益
平成22年3月期第1四半期	6,607	△11	0	8	0.93
平成21年3月期第1四半期	6,664	175	189	67	6.67
伸 長 率	△0.9%	—	△99.7%	△86.8%	△86.1%
(参考)平成21年3月期	29,371	1,006	1,068	211	21.15

(1)平成22年3月期 第1四半期の概況

当第1四半期連結会計期間の売上高は6,607百万円(前年同期比△0.9%)、営業損失は11百万円(前年同期は175百万円の黒字)となりました。これは、イービジネスサービス事業では増収増益となったものの、ソリューション事業で売上の減少ならびに稼働率の低下、それに加えてシステム開発案件の損失計上により、営業損失となりました。経常利益は0百万円(前年同期比△99.7%)、当期純利益は子会社の事業譲渡益、投資有価証券売却益を計上した結果、8百万円(前年同期比△86.8%)となりました。セグメント別の詳細は以下のとおりです。

なお、外注先との契約更新を機としたコスト削減およびプロジェクトマネジメント体制の具体的強化による収益管理につき、着手済みであります。

(2)事業別の状況

(百万円)

	平成21年3月期第1四半期		平成22年3月期第1四半期		(参考)平成21年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
イービジネスサービス事業	4,085	172	4,281	219	17,203	949
ソリューション事業	2,579	2	2,325	△231	12,168	57
連 結 計	6,664	175	6,607	△11	29,371	1,006

[イービジネスサービス事業]

当第1四半期連結会計期間の売上高は4,281百万円(前年同期比+4.8%)、営業利益は219百万円(前年同期比+26.9%)となりました。売上高ではEC事業者へのバックオフィス業務運営をトータルサービスとして提供するイーショップエイジェント・アウトソースサービス事業において、ウイルス対策ソフトの売上が増加しました。営業利益においては、売上の増加に加えて、利益率の高い商品構成を高めることで増益となりました。

[ソリューション事業]

当第1四半期連結会計期間の売上高は2,325百万円(前年同期比△9.8%)、営業損失は231百万円(前年同期は2百万円の黒字)となりました。売上高は顧客のIT投資抑制により減少しました。営業損益においては、これに加えて、稼働率の低下ならびにシステム開発における不採算案件の発生に伴う損失70百万円の影響もあり、営業損失に転じました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の概況

(連結財政状態)

(百万円)

	平成21年3月期第1四半期	平成22年3月期第1四半期	(参考)平成21年3月期
総資産	12,203	11,592	12,254
純資産	7,199	6,815	6,970
自己資本比率	57.7%	58.8%	56.4%

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産の残高は、前連結会計年度末より661百万円減少して11,592百万円となりました。

流動資産は主に売上債権の減少などにより前連結会計年度末より799百万円減少しました。現金及び預金は152百万円減少しました。

固定資産は主に投資有価証券の増加などにより138百万円増加しました。投資有価証券の増加は、保有する時価のある投資有価証券の第1四半期末時価が上昇したことが主な要因です。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債の残高は、前連結会計年度末より506百万円減少して4,776百万円となりました。

流動負債は主に仕入債務の減少などにより、前連結会計年度末より532百万円減少しました。

固定負債は長期前受金が増加し、前連結会計年度末より25百万円増加しました。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末より154百万円減少して6,815百万円となりました。

主に前期末決算に係る配当154百万円があったことによります。

②キャッシュ・フローの概況

(連結キャッシュ・フローの状況)

(百万円)

	平成21年3月期第1四半期	平成22年3月期第1四半期	(参考)平成21年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	967	280	1,349
投資活動によるキャッシュ・フロー	158	△304	△242
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273	△128	△530
現金及び現金同等物の増減額	852	△152	577
現金及び現金同等物期末残高	3,470	3,042	3,194

当第1四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は280百万円となりました。主な内訳は売上債権の減少1,038百万円、仕入債務の減少△390百万円、法人税等の支払額△297百万円です。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は304百万円となりました。主な減少要因は有価証券の取得による支出100百万円、有形固定資産の取得による支出82百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、減少した資金は128百万円となりました。これは主に配当金の支払126百万円によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より152百万円減少して3,042百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績動向を踏まえ、平成21年4月27日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたします。

(1) 平成22年3月期 業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

1. 連結業績予想

① 第2四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	14,300	390	410	200
今回修正予想 (B)	14,100	140	160	70
増減額 (B-A)	△200	△250	△250	△130
増減率 (%)	△1.4	△64.1	△61.0	△65.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	14,218	425	460	201

② 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	29,000	1,000	1,040	540
今回修正予想 (B)	28,400	700	700	350
増減額 (B-A)	△600	△300	△340	△190
増減率 (%)	△2.1	△30.0	△32.7	△35.2
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	29,371	1,006	1,068	211

2. 個別業績予想

① 第2四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想 (A)	13,800	390	380	190
今回修正予想 (B)	13,700	150	190	60
増減額 (B-A)	△100	△240	△190	△130
増減率 (%)	△0.7	△61.5	△50.0	△68.4
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	13,865	485	672	378

② 通期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	28,200	1,000	980	510
今回修正予想 (B)	27,800	690	690	310
増減額 (B-A)	△400	△310	△290	△200
増減率 (%)	△1.4	△31.0	△29.6	△39.2
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	28,599	1,040	1,267	423

(2) 修正の理由

第2四半期累計期間における、顧客のIT投資抑制およびシステム開発での不採算案件の発生に伴う損失により、上記のとおり修正いたします。なお、外注先との契約更新を機としたコスト削減およびプロジェクトマネジメント体制の具体的強化による収益管理につき、強力に推進してまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 簡便な会計処理

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前連結会計年度末に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 税金費用の計算

従来、税金費用については、当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益にこれを乗じて計算する方法により行っておりましたが、前第2四半期連結会計期間より、年度決算と同様の手法で計算する方法に変更しております。

この変更は、前第2四半期連結会計期間の多額な配当金の受領や、米国サブプライムローン問題に端を発した世界経済の減速や株式・為替市場の変動が前第2四半期連結会計期間に更に大きくなり、業績の不透明感が拡大したことから見積実効税率を合理的に算定することが出来ず、四半期連結会計期間に生じた経済実態を税金費用の計算に反映させた方が投資判断に有用な情報になると考え、四半期連結会計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に反映させるために行ったものであります。

また、この変更後の計算方法を前第1四半期連結累計期間に適用した場合には、前第1四半期連結累計期間の法人税、住民税及び事業税は43,590千円、法人税等調整額は49,731千円となり、従来の方法によった場合と比較して、法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計額は29,462千円減少し、四半期純利益は同額増加し、繰延税金資産(流動)は45,651千円減少し、繰延税金資産(固定)は2,834千円減少し、未払法人税等は77,948千円増加いたします。

2. 工事契約に関する会計基準の適用

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,042,439	3,194,645
受取手形及び売掛金	2,697,451	3,735,637
有価証券	100,000	—
商品	117,139	111,877
仕掛品	391,475	231,309
繰延税金資産	226,802	130,973
その他	574,998	545,652
貸倒引当金	△3,567	△3,432
流動資産合計	7,146,740	7,946,664
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	76,329	79,128
工具、器具及び備品（純額）	260,311	281,437
建設仮勘定	94,422	—
有形固定資産合計	431,063	360,565
無形固定資産		
のれん	6,959	27,145
ソフトウェア	445,100	436,903
ソフトウェア仮勘定	35,828	52,086
その他	12,698	11,874
無形固定資産合計	500,586	528,008
投資その他の資産		
投資有価証券	2,727,431	2,530,837
差入保証金	364,423	364,272
長期貸付金	12,600	12,600
繰延税金資産	281,959	385,202
その他	145,683	241,706
貸倒引当金	△17,682	△115,593
投資その他の資産合計	3,514,413	3,419,025
固定資産合計	4,446,063	4,307,599
資産合計	11,592,803	12,254,263

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,143,976	3,534,377
未払金	482,877	436,981
未払法人税等	10,079	289,940
預り金	101,160	49,717
賞与引当金	105,467	233,633
役員賞与引当金	4,500	15,000
受注損失引当金	62,361	—
瑕疵補修引当金	13,726	22,141
その他	672,300	546,931
流動負債合計	4,596,449	5,128,722
固定負債		
長期前受金	180,498	155,154
固定負債合計	180,498	155,154
負債合計	4,776,947	5,283,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	634,555	634,555
資本剰余金	712,204	712,204
利益剰余金	6,151,603	6,297,525
自己株式	△747,481	△745,910
株主資本合計	6,750,882	6,898,375
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,462	712
為替換算調整勘定	511	9,211
評価・換算差額等合計	64,973	9,924
少数株主持分	—	62,088
純資産合計	6,815,856	6,970,387
負債純資産合計	11,592,803	12,254,263

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	6,664,608	6,607,580
売上原価	5,993,512	6,142,809
売上総利益	671,096	464,771
販売費及び一般管理費	495,792	476,590
営業利益又は営業損失(△)	175,304	△11,818
営業外収益		
受取利息	5,060	6,698
受取配当金	4,478	5,850
持分法による投資利益	5,906	—
雑収入	2,866	3,562
営業外収益合計	18,311	16,110
営業外費用		
為替差損	2,420	—
持分法による投資損失	—	3,750
自己株式取得費用	1,212	16
雑損失	510	50
営業外費用合計	4,143	3,817
経常利益	189,472	474
特別利益		
投資有価証券売却益	972	13,916
事業譲渡益	—	19,695
貸倒引当金戻入額	—	1,599
特別利益合計	972	35,211
特別損失		
固定資産除却損	254	443
投資有価証券売却損	—	10,046
その他	6,490	—
特別損失合計	6,745	10,490
税金等調整前四半期純利益	183,698	25,196
法人税、住民税及び事業税	—	24,286
法人税等調整額	—	△21,154
法人税等合計	122,784	3,131
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△7,079	13,085
四半期純利益	67,994	8,979

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	183,698	25,196
減価償却費	50,114	66,512
のれん償却額	7,266	2,262
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,668	135
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△143,132	△128,165
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,500	△10,500
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	62,361
瑕疵補修引当金の増減額 (△は減少)	—	△8,414
有形固定資産除却損	254	443
受取利息及び受取配当金	△9,538	△12,548
持分法による投資損益 (△は益)	△5,906	3,750
投資有価証券売却損益 (△は益)	△972	△3,870
事業譲渡損益 (△は益)	—	△19,695
売上債権の増減額 (△は増加)	1,096,665	1,038,185
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△31,684	△165,097
営業債権の増減額 (△は増加)	△228,344	△92,957
仕入債務の増減額 (△は減少)	△317,836	△390,401
未払消費税等の増減額 (△は減少)	85,396	39,329
営業債務の増減額 (△は減少)	225,600	159,098
その他	1,212	△533
小計	905,962	565,091
利息及び配当金の受取額	117,958	12,452
法人税等の支払額	△56,077	△297,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	967,843	280,393
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,087	△82,072
無形固定資産の取得による支出	△66,409	△34,516
有価証券の取得による支出	—	△100,000
投資有価証券の取得による支出	—	△75,000
投資有価証券の売却による収入	173,950	41,131
事業譲渡による収入	—	20,500
子会社株式の取得による支出	—	△74,760
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	64,358	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	7,643	—
貸付金の回収による収入	—	549
差入保証金の差入による支出	△7,311	△150
投資活動によるキャッシュ・フロー	158,143	△304,318
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△142,014	△1,586
配当金の支払額	△131,063	△126,695
財務活動によるキャッシュ・フロー	△273,077	△128,281
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	852,910	△152,206
現金及び現金同等物の期首残高	2,617,532	3,194,645
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,470,442	3,042,439

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

（単位：千円）

	イービジネスサービス事業	ソリューション事業	計	消去または全社	連結
I. 売上高および営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,085,307	2,579,301	6,664,608	—	6,664,608
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	4,085,307	2,579,301	6,664,608	—	6,664,608
営業利益	172,726	2,577	175,304	—	175,304

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

（単位：千円）

	イービジネスサービス事業	ソリューション事業	計	消去または全社	連結
I. 売上高および営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,281,902	2,325,678	6,607,580	—	6,607,580
(2) セグメント間の内部売上高または振替高	—	—	—	—	—
計	4,281,902	2,325,678	6,607,580	—	6,607,580
営業利益又は営業損失(△)	219,193	△231,011	△11,818	—	△11,818

〔所在地別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

在外子会社および重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

在外子会社および重要な在外支店がないため、記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。